

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部／研究科 法学科／専攻 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 東呉大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 9月 18日 ～ 2018年 6月 30日 出国日 2017年 9月 14日 最終帰国日 2018年 7月 3日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

一学期は授業であり自分から意見を発信していくことができなかつたが二学期は特にその点を意識して取り組むことができたのでその点では改善できてよかった。二学期は授業で関わる新しい留学生が少なかったこともあり、あまり新しい友達を作ることができなかったことは少し残念であった。この留学では専門である法律以外についても学ぶことができ、自分の興味や視野を広めることができたと思う。また授業の中では様々な国からの留学生と意見を交わすことができ聴く力や伝える力も向上させることができたと思うが、まだまだ伝える、という点では未熟な部分が多いことも再確認することができた。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

やはり語学面ではもっと準備をしておけばよかったと感じることが多かった。特に中国語はまだ文法や単語がしっかり身につけていない状態で行ってしまったのでその点で悔しい思いをすることもあった。また日本の政治や様々な問題に対する知識が足りず、授業で他の留学生にうまく伝えられなかったりした時もあったので事前にもっと勉強しておけばもっと深く学ぶことができたのではと思う。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

私は英語開講の授業を主に履修していたのだが、自分の専門以外にも様々な学科の授業を履修できる点がとても良かった。教授は話しやすく、フレンドリーな印象があった。日本よりも教授と学生の距離の近さを感じた。授業については講義形式の授業でも頻繁に教授が学生に意見を聞いたり、活発な授業が多かった。考え、自分の意見をまとめ、伝えるという力を向上させることができた。私は一年間留学をしたのだが英語開講の留学生向けの授業は通年の授業はあまりなかった。だが一学期と二学期の授業がそれほど変わらず二学期の授業で何を履修しようか悩んだ点はあった。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

東呉大学のキャンパスは二つあり、一つは故宮博物館近くの山の方にあるメインキャンパスでもう一つは街の中心地にあるダウンタウンキャンパスだ。私はメインキャンパスで行われている授業を多く取っており、寮もそのキャンパスにあったのでダウンタウンキャンパスの方には週に一回しか通わなかった。メインキャンパスは少し山の方にあるので自然が多く、大学の隣には川もあった。またキャンパスはとても広く寮に住んでいる学生も多いのでファミリーマートやマック、カフェのようなお店から日用商品も売っている文房具屋さん、郵便局まで揃っており、そんなに不自由はしなかった。ただ、キャンパス内には階段が多く、毎日寮に帰るときに階段を上るのがきつかったがよい運動になったと思う。ダウンタウンキャンパスは広くはないが学食など必要な施設はちゃんと揃っていた。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

東呉大学には中国語の語学学校があり、四学期に分かれて開講されている。一学期は約30000元ほどで1日3時間授業がある。私は利用しなかったが、集中的に勉強できるので利用するのも良いのではと思う。この語学学校の他にも無料で学生が中国語を教えてくれる小老師という団体がある。授業というよりは予習や復習からただ中国語を使っておしゃべりしに行くこともできるので気軽に行けるし、友達もできるので空き時間などに利用した。さらにこの団体は無料のウェルカムパーティーや遠足のようなものも開催しているので、語学や文化を楽しみながら勉強することができた。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面でのサポートは上に書いた小老師がなんでも相談に乗ってくれるので助けられた。また大学の国際センターも寮についての相談などもなんでも聞いてくれるので生活面では困ることはほとんどなかった。またこの国際センターは留学生向けのイベントを数多く開

いておりウェルカムパーティーやカードゲーム大会、文化交流できるイベントやランチイベントなど数多くの様々なイベントがありどれも楽しかった。さらに学内でやるイベントだけでなく、淡水という観光地まで自転車で行くイベントなどもあり思い出を作ることができた。イベントについても何かやりたいことなど要望があればセンターが意見を聞いてくれるのでとても良かった。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学周辺の治安はとても良かった。大学のメインキャンパスは駅からバスで15分ほどの場所にあり、山の方なので周辺には住宅やコンビニが少しあるくらいで静かな場所である。夜も人通りはあまりないが車はよく通る。駅から大学に行くまでバスか歩きか台北にはUBikeというレンタル自転車がありそれを使うこともできる。Ubikeは安いし24時間利用することができるのでよく使っていた。夜遅くに友達とUbikeを使って駅から大学まで帰ることも多かったが、とても安全なので治安についてはそんなに心配は要らないと思う。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Beginning Chinese II (5)	
Intermediate Chinese I (5)	
English Conversation (2)	
Introduction to Anglo-American law studies 前期+後期 (4)	
Contemporary East Asian cultures and societies (2)	
Social policies in East Asia (2)	
Intermediate Chinese II (5)	
English Conversation (2)	

書法(2)	
Cross-strait trade and economic relations (2)	
Business communication and negotiation (2)	
Global public policy (2)	
太極拳 (2)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮／アパート／ホームステイ／その他 ()

(2) 家賃

二人部屋 月額 (現地通貨) 約 10000 元 、(日本円) 約 36290 円

四人部屋 月額 (現地通貨) 約 5000 元 、(日本円) 約 18140 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕)／自炊／その他 (学食)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他 ()、計 0 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

大学内の寮ということもあって朝などは楽だった。また安全面でも 24 時間守衛さんのような方達がいるので安心である。私の寮は他の寮に比べて綺麗だった。交流室には誰かしらいることが多く、一緒に話したりゲームをしたり勉強したりでき楽しかった。ただ、暑くなってくると部屋にも虫が結構出た。それも今となっては思い出だが少し大変だった。また私が住んでいた寮は留学生用の寮で台湾人は住んでいないので台湾人と多く交流したいようであれば、大学内に違う寮もあるのでそちらを希望した方が良いと思う。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他 ()、(日本円) 約 5 万 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 21000 元 、(日本円) 約 4 万 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード／現金／その他 ()

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

私は月ごとに両親に生活費をプリペイドカードに振り込んでもらい、それを引き出して使っていた。全く不自由なく利用できた。プリペイドカード+クレジットカードがある

と安心だと思う。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

私はこの奨学金を主に約5ヶ月分の生活費にあてさせていただきました。

食費	40000 円
交通費	10000 円
Sim カード	10000 円
寮費	140000 円

5. 保険について

(1) 保険会社名

AIU 保険

(2) 保険料

19 万円

(3) 加入した保険の種類、内容

留学生プラン

傷害死亡 1000 万、疾病死亡 1000 万、傷害後遺障害 30 万～1000 万、治療・救援費用 無制限、個人賠償責任 1 億、携帯品 30 万、航空機委託手荷物遅延 10 万、航空機遅延費用 2 万

(4) 感想、良かった点・悪かった点

保険を利用することはありませんでした。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

持って行ってよかったと思うものは冬服である。台湾の冬は結構寒く、寮には暖房もないため冬服は考えていたよりも必要だった。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

基本的に台湾には日本の製品も多く売っているので少し高くなるが現地でも一応必要なものは揃えることができるので、荷物についてはほとんど心配する必要はないと思う。

(4) 持って行けば良かったと思う物

特になし

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

寮も大学内にあるので平日は基本的に大学内で過ごしていた。授業に行き空き時間は小老師で予習や復習をしたり、友達と一緒にご飯を食べたりバディと会うことが多かった。時々、

大学にあるジムやグラウンドで運動したりもした。あまり自炊はせず、大学の食堂やカフェで食べるが多かったが授業が終わってから友達と外食することもあった。また部屋や寮の交流室で課題に取り組むことも多かった。

(2) 週末

週末は外出することが多かった。友達と台北を観光したり買い物に出かけたり、一人で街を散歩しに行くこともあった。週末という短い時間の中で台北から少し離れたところにある山に登ったり、アクティブに過ごすこともあった。あとは小老師や国際センターのイベントは週末に開催されることが多かったので、そのようなイベントにはよく参加した。また週末は学内の学食などがあまり空いていないので外食することが多かった。たまにルームメイトと料理をして一緒に食事を楽しんだ。他にも課題に取り組んだり、洗濯をしたりなど寮でゆっくり過ごす日もあった。

8. 後輩へのアドバイス等

これから留学に行く方達はその機会を使って様々なことに挑戦するとより密度の濃い留学にすることができると思う。たとえ留学に行ったとしても自分から行動していかないと何も起こらないしとてももったいないと思うので、自分が少しでも興味を持ったものをやってみたり、できるだけ多くの人と交流するようにするなど小さなことでもいいので始めてみると自分の新たな面を発見できたり視野を広めることができるのではないかと思う。また、台湾は人も食べ物も景色もとても魅力で溢れているので是非台湾を満喫してきてほしい。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。